

たいたい

議会だより

No.62

令和元年11月15日
(2019年)

【題字】磯部 莉海さん

胎内市議会
フェイスブック
始めました!



市議会の活動や話題を発信していきます。ぜひ、ご覧ください。

行政情報発信アプリ

マチイロ
始めました!



「たいたい議会だより」をスマートフォン等からご覧いただけます。

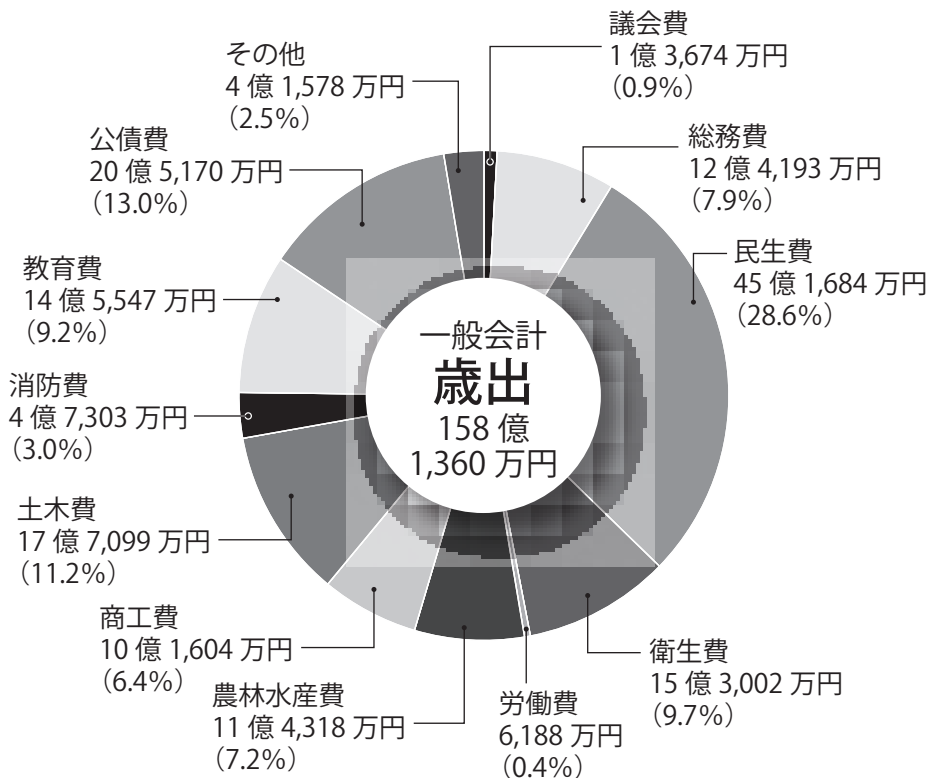
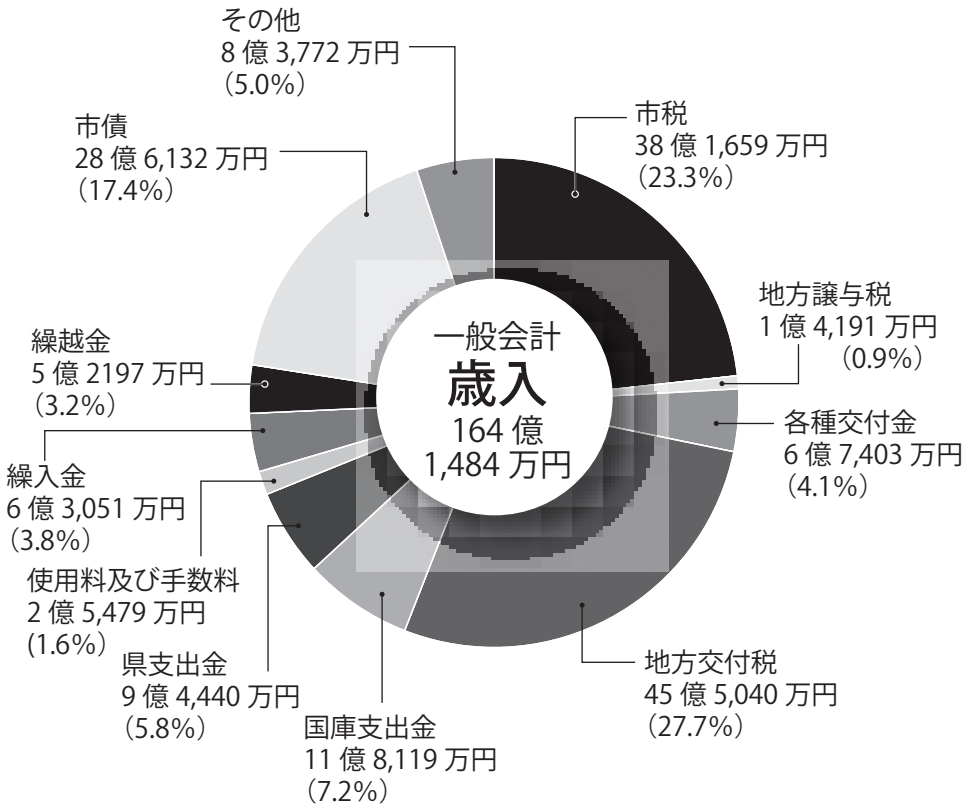
決算審査特別委員会	2～4ページ
一般質問(8人)	5～12ページ
議決結果	13ページ
常任委員会審査	13～14ページ
委員会視察報告	15ページ



西町二区在住の高崎さんファミリー

左から
もも さん 中2
まお さん 小3
はる さん 小6

平成30年度 歳入歳出決算を認定



※各項目で四捨五入のため、合計が合わない場合があります。

令和元年第3回定例会は、9月10日から10月7日までの28日間にわたり開催されました。今定例会には、補正予算12件、条例の一部改正10件、条例の制定1件、決算の認定12件、人事案件1件、その他2件の計38議案が市長から提出されました。また、議員発議2件が提案され、審議の結果、

全て原案のとおり可決（認定）されました。平成30年度の一般会計の決算状況は、歳入総額164億1千484万円、歳出総額158億1千360万円、歳入総額が歳出総額を超過し、歳入総額が歳出総額を1億1千124万円超過しました。歳入総額では、164億1千484万円（1・6%）の増額となり、歳出総額では、158億1千360万円（2・2%）の減額となりました。

◎各会計の決算状況と採決の結果

会 計		歳 入	歳 出	採決結果
一般会計		164億1,484万円	158億1,360万円	認定
特 別 会 計	国民健康保険事業	33億494万円	32億2,614万円	認定
	後期高齢者医療	2億9,204万円	2億2,954万円	認定
	介護保険事業	35億3,433万円	33億1,811万円	認定
	黒川診療所運営事業	5,564万円	5,259万円	認定
	農業集落排水事業	6億470万円	5億8,617万円	認定
	簡易水道事業	1億8,246万円	1億5,202万円	認定
	地域産業振興事業	4億6,762万円	4億6,712万円	認定
	鹿ノ俣発電所運営事業	1億8,614万円	1億5,821万円	認定
企業会計	公共下水道事業	10億9,832万円	8億9,688万円	認定
	水道事業	6億9,440万円	5億4,323万円	認定
	工業用水道事業	1,017万円	916万円	認定
合 計		268億4,560万円	255億1,477万円	
前 年 比		97.15%	96.53%	

※企業会計は、収益的収支（営業に関わる活動）を記載しています。
 ※1万円未満は、四捨五入のため、合計が合わない場合があります。

平成30年度胎内市一般会計をはじめとする12会計の決算について、議長と監査委員を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、3日間にわたり審議を行いました。主な質疑を紹介します。

一般会計

◇総務費◇

質問 新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏の婚活事業について、何組が成立したのか。

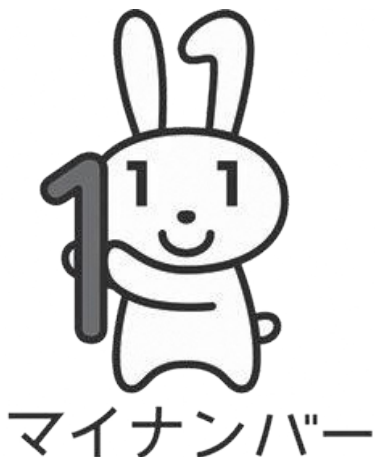
答弁 婚活イベントを3市町で計6回開催した。市内からは、男性23人、女性13人の計36人が参加し、男性6人、女性6人がカップル成立となった。現時点では、結婚に至っていない。

質問 高齢者運転免許自主返納等支援事業の実績は。

答弁 平成30年度中に運転免許証を自主返納した86人に「のれんす号」の回数券を交付した。平成23年度の事業開始以降、最高の返納数であった。

質問 平成30年度中にマイナンバーカードを取得した人数と現在、胎内市で取得している人数は。

答弁 平成30年度中にマイナンバーカードを交付した方は、400人。市民で所持しているのは2千422人である。国では、令和4年度までに国民がカードを保有することを目指し、様々な政策を行っている。





◇民生費◇

質問 生活困窮者自立支援事業を利用した人数と実績は。

答弁 実利用者数は160人である。問題の解決に至った方は12人でその内、就業に関する相談者8人が職に就いた。

◇消防費◇

質問 地域自主防災組織事業補助金を14組織に交付したとあるが、具体的な内容は。

答弁 各自主防災組織で準備するリヤカーやオリジナルのジャンパー、備蓄倉庫の設置などに活用いただいた。

◇教育費◇

質問 産業文化会館が雨漏りしているが、今後の対応は。また、企画展示室がカビ臭いという状況だが、早めに原因を究明し、改善するべきでは。

答弁 施設の長寿命化計画に基づき修理を実施していく。企画

展示室については、管理業者と対応を検討する。



ブルーシートで屋上の応急処置を行う産業文化会館

質問 市内小中学校のスキー授業の実施状況は。

答弁 平成30年度は、全ての小中学校でスキー授業を実施した。中学校では、乙・築地中学校で実施したが、中条・黒川中学校では実施しなかった。なお、中条中学校では、今年度にスキー授業を計画しており、黒川中学校でも今後、実施に向けて前向きに検討すると聞いている。

特別会計

◇国民健康保険事業◇

質問 胎内市における特徴的な疾病は。

答弁 新潟県の医療費平均と比較すると、糖尿病の医療費が高い。また、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病の割合が高くなっている。

◇地域産業振興事業◇

質問 ワイン醸造委託料の内訳は。

答弁 ワイン醸造作業補助として718万円、醸造指導で179万円である。なお、醸造指導については、年間約14回出向いてもらい指導をいただいている。

質問 昨年度、ワイン用ぶどうの収穫量が減った理由は。

答弁 ぶどうを植栽して約18年経過し、木の本数が減少してきていること。山から吹く風で木がダメージを受けていること。また、7月の干ばつが影響した。



渡辺 秀敏 議員

今後の事業見直しの計画について

議員 事業見直しの来年度の計画と全体のプロセス及び最終的な目標金額について伺う。

また、議会への提出のタイミングはいつごろか。

市長 来年度の収支見直しは現在精査中であるが、事業見直しを行うことで、持続可能な行財政運営を維持できると考えている。但し、どこまでも加速しなければならぬという必然性はないと認識している。目標金額は現時点では算出できないが全体の概要も含めできるだけ速やかに議会に提示したい。

議員 見直しを検討する際に、有識者も入れないか。

市長 現在も第三者外部評価の中で事業の効果検証も行っているし、市民協働の話し合いの中で意見も参考にしている。

公営住宅の現状について

議員 公営住宅の中には耐用年数を過ぎていくものもあるが、長寿命化計画における修繕の状況と今後の計画について伺う。

市長 限られた予算の中で、大規模な修繕に関しては、緊急性や必要性を判断した中で、計画どおりに進捗していないものもあり、現計画の見直しの必要がある。



老朽化した公営住宅

あると考えている。

議員 耐用年数を過ぎたものについての今後の計画は。

市長 著しく古くなったものは取り壊しも考えているが、必要な場合には増築等、待機者に十分な配慮を行っていく。

議員 現在の入居状況と待機者の人数は。

市長 昨年度末時点における戸数は452戸であり、修繕中のものを除くとほぼあきがない状況である。待機者は95件である。

森林環境譲与税について

議員 今年度から新たに導入された森林環境譲与税について、約365万円が予算計上されているが、その活用について伺う。

市長 この税は、人材の育成確保等の森林の整備の促進が目的であり、公有林・林道の整備、病虫害防除事業等のほか整備が必要な森林を抽出し、その所有者に対する意向調査を予定している。



松くい虫被害にあった林

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



森田 幸衛 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

福祉まるごと相談窓口について

議員 本年度から始まった福祉

まるごと相談窓口の利用件数、相談内容、問題の解決等、現段階での事業評価については。

市長 3カ月間で実人数25人、

延べ50件の相談を受けた。相談員には保健師、看護師、社会福祉士を配置し、多角的な視点で各分野の相談に対応できる「断らない相談支援体制」を整えており、これまでどこにも相談できずに悩んでいた方や地域から孤立していた方への対応を行っている。また、障害や生活困窮等、各分野の相談支援機関との連携及び課題の総合調整を担うなど重要な役割を果たしている

と評価している。



市役所1階の「福祉まるごと相談窓口」

教育振興について

議員 胎内市教育委員会としての自殺予防教育に対する考え方や、取組みについては。

教育長 近年、全国的に自殺した児童生徒数は残念ながら減少傾向にない状況にあり、学校における自殺予防教育の充実は重要なことと捉えている。昨年度、築地中学校の前校長から先進的な取り組みについて指導してもらって、各学校でも取り組むように働きかけをした。

辺地対策事業債について

議員 国が80%補助してくれる辺地対策事業債の本年度までの成果と合計額については。

市長 黒川東部辺地は15事業約10億8千万円、村松浜辺地は2事業約5千万円、桃崎浜辺地は1事業約1千万円に辺地債を充当している。成果としては、黒川東部辺地でスクールバス購入事業として黒川小学校に3台、

黒川中学校に2台のスクールバスが整備されたことに伴い、それまで事業者のバスを使用した運行業務委託であったものを運転業務委託や運転員の雇用に転換し、経費削減につながっている。樽ヶ橋遊園改修事業として大型複合遊具及び屋内休憩所を整備したことで、整備前の平成29年8月末時点と比較すると本年度は約14倍の約3万5千人の入園者数を記録している。



樽ヶ橋遊園休憩所「たるる」



坂上 清一 議員

圃場整備事業の現状と課題について

議員

現在実施している須巻、苔実地区、今後実施予定の坪穴、夏井、川合、平木田地区について現状と課題及び今後の計画内容について伺う。

市長

須巻地区では現在は3工区内のうち1工区が面工事を完了し、今年度から作付がなされている。苔実地区については、今年度から面工事を開始し、令和8年度に全ての事業が完了する計画になっている。夏井、坪穴、川合地区においては令和2年度に事業着手を予定し、平木田柳原地区においては令和3年度に事業着手予定として県との調整を行っている状況である。



圃場整備が進む苔実地区

地域おこし協力隊の現状と今後の方向性について

議員

現在受け入れていている集落は、活性化していると思うが、他の集落についても現状を把握する取り組みが必要と考えるが、市の対策を伺う。

市長

基本的に、希望する集落があれば導入に向けて積極的に支援していく方向であるが、重要なことは集落側の受け入れ目的を明確にしておかなければならないこと、受け入れ態勢を整えておかなければならないことが大切に思う。隊員を受け入れていない集落の現状把握については、現在取り組みを進めている協働座談会の場がまさにそのためのものであるし、協力隊の趣旨についても積極的に周知していきたいながら、協力隊の導入を考えている集落については地域の課題や資源などの現状も把握して市としても連携していきたい。

中高年のひきこもり対策について

議員

市としてどのような対策を講じ、取り組んでいるのか伺う。

市長

相談体制として市役所の福祉まるごと相談窓口では、常時相談を受け付けており、ほつとHOT・中条でも日々の窓口相談はもちろん、ひきこもりの方の早期支援につなげられるよう、相談しやすい体制づくりを進めているところである。



ひきこもり

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



羽田野 孝子 議員

医療的ケアが必要な若者の通所サービスの確保について

議員 医療的ケアが必要な障がい者を通所させて5年間働いてきたが、来年4月から通所を断られている母親が困っている。通所先を他で確保できないか伺う。

について伺う。

市長 現在4名の方が基準該当障害福祉サービスの提供を受けている。

市長 市内に生活介護に対応する障害福祉サービス事業所はなく、その代替となり得る基準該当障害福祉サービスを4か所の介護事業所で提供しているが、受け入れ調整が困難であることは課題として率直に認めている。改善に向け加速して対応していく。



特別養護老人ホーム「とっさか」

プラスチック容器の分別収集について

議員 ここ3年間の年間一人当たりのごみの排出量と資源ごみ回収量の変化について伺う。

市長 年間一人当たりの排出量は平成28年度が約251kg、29年度247kg、30年度240kgで微減の状況。資源ごみの回収量は平成28年度が約52kg、29年度約48kg、30年度約44kgで、年々減少している。

議員 プラスチック容器を分別収集できないか。

市民生活課長 資源ごみのうちペットボトルは売却。白色トレイ・発泡スチロールは手数料がかかり処分単価が高くなっている。プラスチック全般の国内のリサイクルの状況を考慮し、多くの市民の理解が得られた段階で進めるべきで、当分の間は現状のまましていく。

受動喫煙対策について

議員 市職員の喫煙者数・率について伺う。

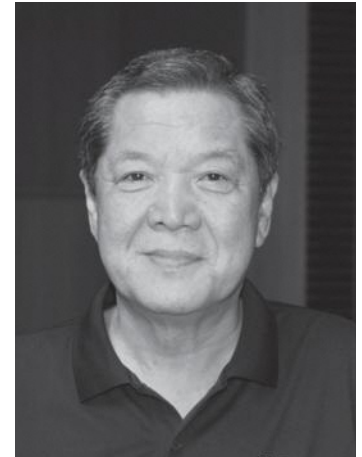
市長 正規職員のうち電子たばこを含めた喫煙者数は60人程度であり、全職員に対する割合はおよそ2割程度である。

議員 市役所の喫煙場所を改善できないか。

総務課長 特定屋外喫煙所をどうするか、喫煙時間をどうするかも含めて検討して年内中に結論を出す予定である。



胎内市役所の喫煙所



渡辺 宏行 議員

自主防災組織の取り組みと 災害時の要援護者の支援について

議員 自主防災組織の役員編成は、自治会の役員でほぼ形成されていると思うが、役員の任期等で運営面、活動面で支障をきたしていないか。

市長 自主防災組織の会長と区長はほぼ兼任している。役員任期が1年で交代の場合は、申し送りやがされていない自治会集落もあり、防災の取り組みが進まないなどの支障が懸念される。区長会議などを通じ、市で養成している防災士を防災委員など自治会役員として、防災訓練や地域の行事に積極的に参加してもらおうようお願いしている。

議員 国は自治体に「避難行動支援者名簿」の作成を義務付け、個人ごとの避難支援計画の作成を求めているが、計画の作成状況と名簿の活用方法は。



自治会集落で実施する防災訓練

市長 胎内市災害時避難支援プランをもとに、要支援者が自ら支援を希望する方を募り、避難行動要支援者名簿を作成し、自治会集落の区長に名簿を提供し、避難行動要支援者に対する個別計画の策定を依頼した。しかし個人情報共有の問題もあり、本年2月に、災害時に要支援者を支えるための個別行動計画策定におけるガイドラインを作成し、自治会集落の区長に配布した。

幼保無償化 ポイント

議員 無償化により、預かり保育や延長保育を希望する家庭が増え、対応できる保育士の確保が難しくなるのでは。

市長 預かり保育については定数に余裕があり対応は可能。延長保育についても、無償化の対象外ではあるが、現状の保育士で対応は可能。

議員 給食費の金額が施設ごとに異なるとされているが公立・私立の違いか。統一の考えは。

市長 各保育園で実費を徴収していることから、若干の違いはある。統一については、今年度中に聞き取り調査を行い、可能であれば来年度から統一を考えていく。



幼保無償化がスタートした保育園

【その他の質問】
・旧柴橋小学校の跡地利用について

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



丸山 孝博 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

保育料の負担軽減について

議員 市は独自で保育料の負担軽減をしているが、10月から保育の無償化に伴い、その浮いた財源で、新たに副食費の実費(月額4500円)負担になる対象者の負担軽減を。

市長 国の財源手当がどうなるか見定めながら方針決定をしていく。

議員 保育の無償化は、0〜2歳児は対象外であり、全体の3割である。高い保育料になっている。

多子世帯に対する副食費の市独自の負担軽減と合わせて検討すべきでは。



保育園の給食

市長 多子世帯に対する副食費については、新たな負担増にならないようにする。

孤独・孤立死対策について

議員 高齢者の1人暮らしや高齢者のみ世帯が増えている状況で、孤独・孤立死が懸念される。

胎内市の過去5年間の推移と、新聞配達店や郵便局、地域の支え合い等で事前に食いとめた事例について伺う。

市長 死亡に関して市が把握できていない事例も多く、関係機関などからの報告では年間2件から3件である。

食いとめた事例はないが、支え合い見守り隊が、高齢者宅で倒れているのを発見し、一命を取りとめた例はある。

議員 訪問活動以外に、電話による訪問で高齢者の安否確認及び孤独感の解消、情報提供等の支援をしてはどうか。

市長 有効性や留意点、実施方法を検討し、定まった場合には実施していこうと思う。

県の財政危機に対する影響について

議員 新潟県は、財政緊急事態として、聖域を設けず歳出削減に取り組みとし、建設事業費の抑制、県単補助金の見直し、県営施設の統廃合や、知事などの給与等もカットするとしているが、当市における市民生活等に与える影響はどうか。

市長 県単独の補助金が27件、2億512万円ほどあり、その事業に影響があることが予想される。様々な機会でも、市民の暮らしに影響が及ばないように要望する。



新潟県庁

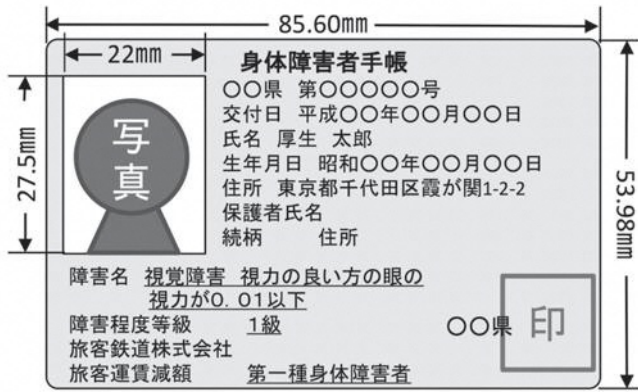


渡辺 栄六 議員

障害者手帳のカード化について

議員 カード型障害者手帳を希望する方々に対し、一日でも早い交付ができるよう本市としても準備を進めるべきと考えるが。

市長 カード化を行う推進主体は都道府県であるが、県では現在のところカード化の具体的な検討までは至っていない。当市において窓口で手帳所有者からカード化を望む声もいただいているし、障害福祉の充実の観点から積極的に導入の検討を進めていくべきと認識している。



障害者カードイメージ

投票率向上の取り組みについて

議員 期日前投票宣誓書を投票入場券の裏面に印刷して事前に自宅で記入できるようにできないか。

選挙管理委員長 県内でも既に実施されている市町村があるが、当市においても可能であれば次回の選挙までの導入に向けて準備を進めていく。

議員 若い世代の低投票率解消策や、高齢者に対する投票支援は。

選挙管理委員長 統廃合した地区においては移動支援バスを運行し、投票場への交通手段を確保するなどの取り組みを行ってきた。若者の意識向上や高齢化に伴う高齢者への配慮は大切であるので、他市町村の取り組み等も参考に検討を加えていく。

市営住宅の整備について

議員 二葉町の市営1号棟は雨が降ると駐車場が冠水し、水は



降水時に冠水状態の市営1号棟駐車場

けができない状態であるが早急に改善するべきではないか。

市長 現在その改善に向け、駐車場に雨水集水ますの設置工事を実施し、近日中に完了する予定である。

議員 市営住宅を取り壊して、更地になっている用地の用途については以前の定例会でも質問したが、その後の状況は。

地域整備課長 現在のところ宅地として売却する方向で作業を進めている。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



渡辺 俊 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

まち・ひと・しごと総合戦略について

議員 まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策について進捗状況を伺う。

市長 施策の遂行指標について国の検証方法にならない、進捗状況を把握したところ、目標達成に向けて進捗しているものが69%、目標達成に向けて政策効果が必ずしも十分に表れていないものが31%となっている。

基本目標ごとに見ると、雇用環境については目標達成に向けて施策が進展しているものの、子育て環境及び生活環境については効果が十分に表れてきていないものが少なからず見受けられ、その要因の分析を行い、第



2次総合戦略の策定に繋がっていく。

行政改革大綱について

議員 第3次行政改革大綱実施計画の進捗状況を伺う。

市長 この実施計画は、平成29年度から令和3年度までの5か年の計画で、現時点で計画期間の半分となる2年半が経過するところである。

この実施計画に基づいて実施した主な取り組みとしては、協働座談会、事業見直し、中条駅前広場やサンビレッジ中条等指定管理者制度の導入施設の拡大、黒川支所における組織改編などであり、今年度は新たに市報の特集記事の充実、ふるさと納税の返礼品拡大等に取り組んでいる。

なお、この進捗状況については、行政改革推進委員会に報告した後に公表する予定としているが、進捗がはかばかしくないものについては、今後残りの計画期間のうちに達成されるよう取り組みを加速していく。

財政健全化計画について

議員 新財政健全化計画の策定状況を伺う。

市長 新たな財政計画については現在、歳入歳出それぞれの科目ごとの中長期的な推計を取りまとめているところである。

今後それらの分析を行った上で、財政のシミュレーションを作成し、計画としてまとめていく予定としており、遅くとも今年度中には策定できるよう作業を進めている。



令和元年 第3回定例会議決結果

全会一致で可決（同意）された議案	
令和元年度補正予算 ・一般会計補正予算（第3号）【専決】 ・一般会計補正予算（第4号） ・国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） ・後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） ・介護保険事業特別会計補正予算（第2号） ・黒川診療所運営事業特別会計補正予算（第1号） ・農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号） ・簡易水道事業特別会計補正予算（第1号） ・地域産業振興事業特別会計補正予算（第2号） ・鹿ノ保発電所運営事業特別会計補正予算（第1号） ・公共下水道事業会計補正予算（第2号） ・水道事業会計補正予算（第2号）	条例の一部改正 ・職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例 ・職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 ・税条例の一部を改正する条例 ・災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 ・私立保育園措置児童保育料徴収条例及び胎内市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例 ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 ・印鑑条例の一部を改正する条例 ・胎内市第一簡易水道及び胎内市第二簡易水道給水条例及び胎内市水道給水条例の一部を改正する条例 ・索道条例の一部を改正する条例
条例の制定 ・会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	その他 ・平成30年度胎内市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について ・財産の無償譲渡について
人事案件 ・教育委員会委員の任命【加藤直子氏】	
議員提出議案 ・学費と教育条件の公私間格差是正に向けて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書（国・県） <div style="text-align: right;">【提案者：渡辺秀敏 議員】</div> 内容：私立高校生への就学支援制度の拡充と私立高校への経常経費助成の増額を求める意見書を国、県へ要望するもの	

※全会一致で可決された議案については、議決賛否表を省略。
 ※平成30年度各会計決算の認定については3ページに記載。

胎内市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例

総務文教

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、改正後の地方公務員法に新たに規定される会計年度任用職員に関し、既存の関係する条例の整備を行うもの。

質問 平成31年4月末で胎内市の臨時職員、パート職員の数は。来年4月からフルタイム会計年度任用職員になる人数は。

答弁 現行の臨時職員、パート職員の人数は283名である。その内、一般事務職ではフルタイム任用職員に該当する者はおらず次年度はパートタイム任用職員として採用する予定である。保育士等の専門職については、業務実態をふまえて検討していく。

常任委員会審査

市内中学生30名が議会に訪れました！

10月10日（木）、市内の中学1年生が地域の事業所や団体などの様々な仕事を学ぶイベント『～知ってみよう、やってみよう～職ナビ』が開催され、胎内市議会も参加しました。

当日は、午前13名、午後17名の計30名が市議会に訪れ、議会の仕組みや議会の仕事について正副議長が説明し、本会議場や委員会室、全員協議会室、正副議長室などを見学していただきました。

参加した生徒からは「なぜ、議員になったのですか」、「働くうえで楽しいこと、辛いことはどんな時ですか」、「1日何時間くらい働いているのですか」などたくさんの質問を受けました。

今回の体験が生徒自身の将来を考えるきっかけになって欲しいと思います。



本会議場にて



委員会室にて

委員会視察報告

総務文教常任委員会

・7月3日～5日

・岐阜県飛騨市

「小中学生を対象に実施する心肺蘇生法の習得を目的にした育成事業」

飛騨市では、小学4年生から中学2年生までを対象に、生命の大切さや災害時、緊急時に自他の生命を守ることが出来る人材の育成を目的として、この事業に取り組んでいた。学年に応じて、心肺蘇生やAEDの取り扱い、胸骨圧迫などを段階的に学び、体験できるプログラムとなっていた。

・石川県珠洲市

「空き校舎を活用した大学との連携事業と滞在交流施設」

珠洲市では、空き校舎となつた小学校を「金沢大学 能登学舎」と名付けて再活用し、里山

里海の将来を担う人材育成、地域課題への対応や交流促進について金沢大学と連携して取り組んでいた。また、別の空き校舎となつている学校をリフォームして「滞在交流施設 日置ハウス」として利用していた。宿泊施設が少ない珠洲市の現状を踏まえて、空き校舎の活用と地域活性化を図っての取り組みであった。どちらのケースも空き校舎の有効活用と地域の特性を活かしたり、地域に不足している点を補う活用方法であると感じた。



7月4日 珠洲市役所



令和元年第4回定例会の日程(予定)

- 11月 26日 議会運営委員会
- 12月 3日 本会議(初日)
- 9日 総務文教常任委員会
- 10日 厚生環境常任委員会
- 11日 まちづくり常任委員会
- 17・18日 本会議(一般質問)
- 20日 本会議(最終日)

私はバレーボールを習っています。バレーボールは、1つのボールを床に落とさずに返すスポーツです。みんなの心が1つにならないとつながりません。私は、そんなバレーボールが大好きです。



中条小学校 6年生
磯部 莉海 さんの作品です。

表紙の写真

「胎内市の未来を担う子どもたち」

私の将来の夢は……

- 高崎 ももさん(中2) 給食の調理員さん
- まおさん(小3) 看護師さん
- はるさん(小6) ペットショップの店員さん

議会報モニターアンケート結果(主なもの)

No.61(令和元年9月1日発行)を見て

- ◎市民と議会の意見交換会について (P2~P3)
 - ・タイトルの文字や写真が大きく、市民ファーストの姿勢が表れています。出された意見が表形式で簡潔にまとめられていて見やすいと感じました。
- ◎議決結果・討論・常任委員会審査について (P4~P7)
 - ・議決62号の反対討論の中で…計画も目標も示されなかった…この件については、議論がないのか、行政からの指導はないのか、疑問です。
- ◎一般質問について (P8~P16)
 - ・質問・答弁を読むと胎内市の現状も見えてきてすごくいいのですが、読みたい気持ちになかなかありません。幅広い人に読んでもらうためには、横書きや縦書き、フォント等の見直しが必要だと思いました。
- ◎閉会中所管事務調査・委員会視察報告について (P17~P18)
 - ・議会や議会だよりをより良いものにする視察内容で興味深く読みました。地域によって捉え方の違いかと思いましたが、既存にこだわらない柔軟な捉え方が、胎内市とは違うと思いました。
- ◎表紙・裏表紙(編集後記等)について
 - ・今号に限ったことではないが、表紙写真と題字の大きさのバランスが良く、お子様たちの笑顔、溢れる表情と題字の力強さが伝わります。
- ◎その他、市議会に関する意見、提言など。
 - ・P18で、「読まれない議会だよりに出す意味なし」モニターの1人として、大変衝撃的な言葉でした。市民の皆様にご覧にいただけるようにモニターとしての責任を感じました。

編集後記

令和元年第3回定例会では決算審査の他8人が一般質問する等、活発な議論が交わされました。議会だよりの活字を今回から大きくして見やすくしました。これからは議会へ関心を持っていただき、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

(羽田野 孝子 記)